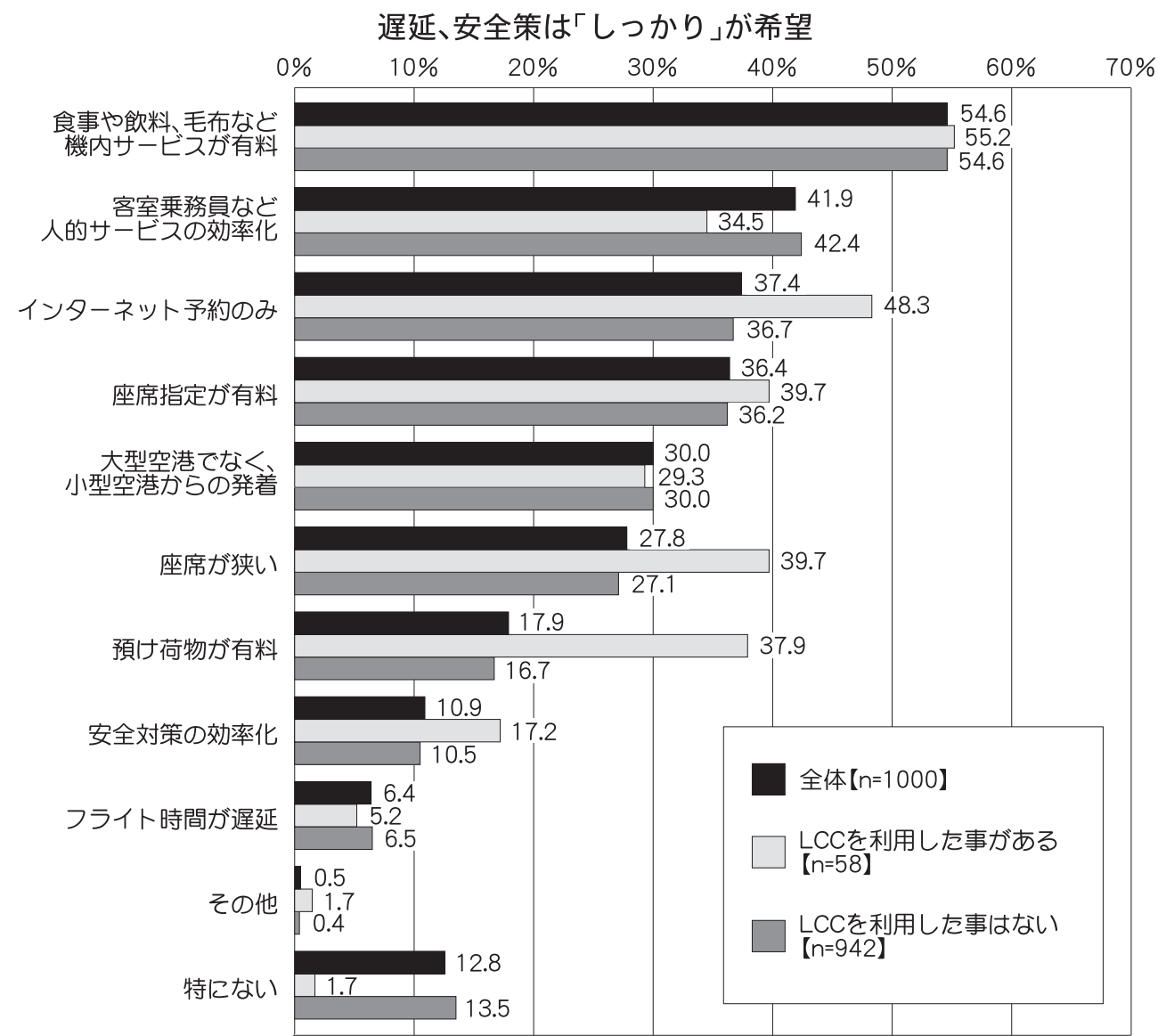


「利用したい」全体の6割弱

ライフネット生命「LCCに関する調査」

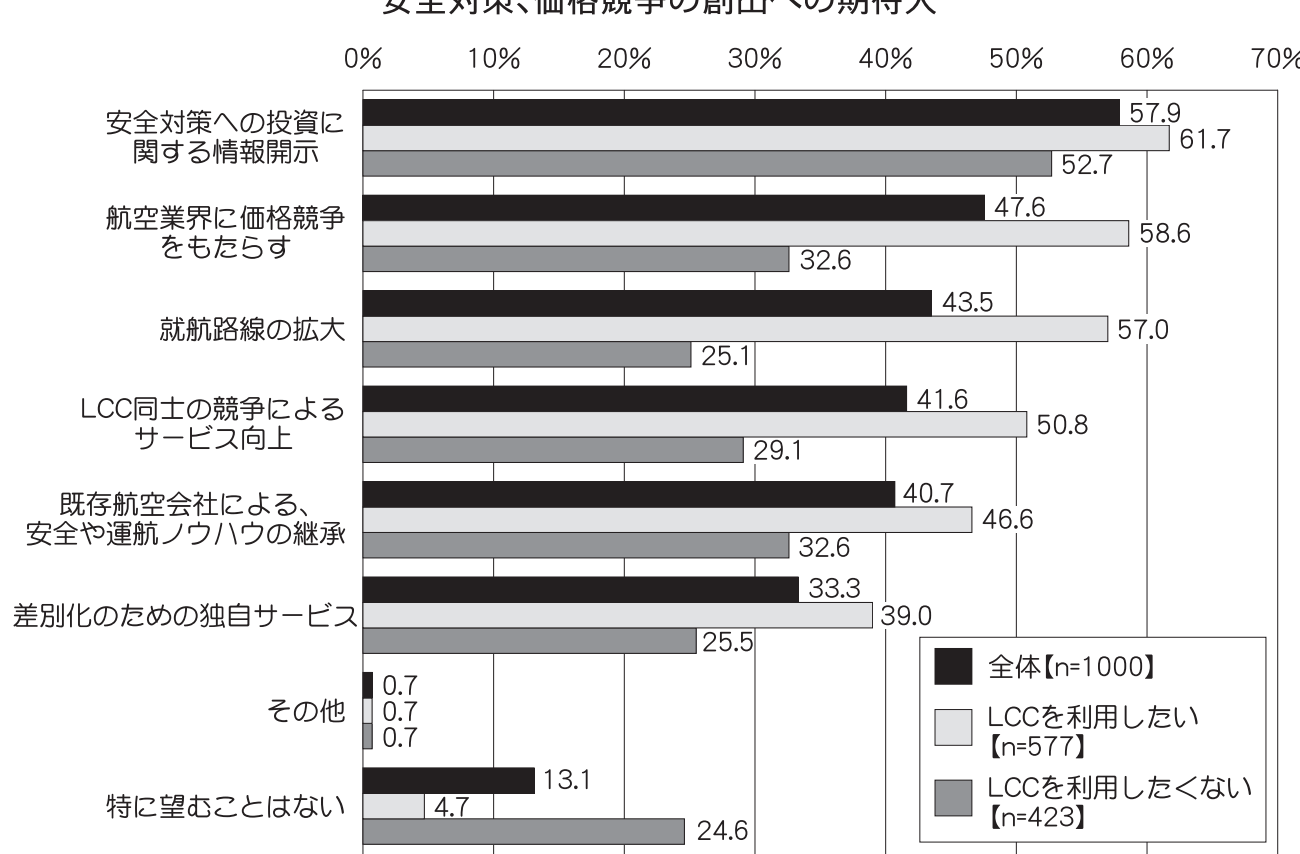
運賃の安さのためなら許容できる低コスト化施策

(複数回答)



LCCにどのようなことを望むか

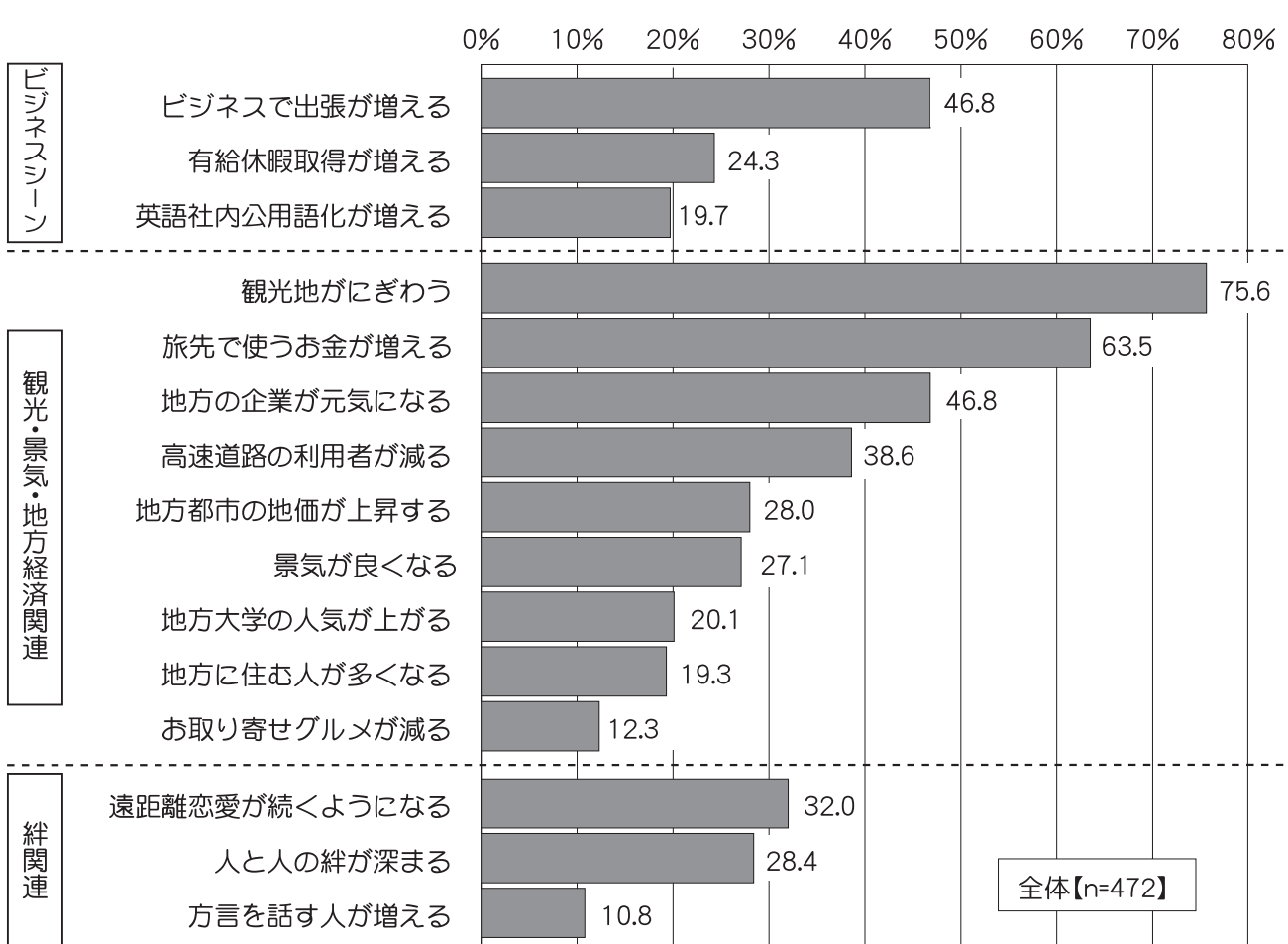
(複数回答)



LCCによる移動コスト低下での世の中の変化

(項目ごとに単一回答、有職者対象)

観光地のにぎわいづくり効果などを予想する声多く

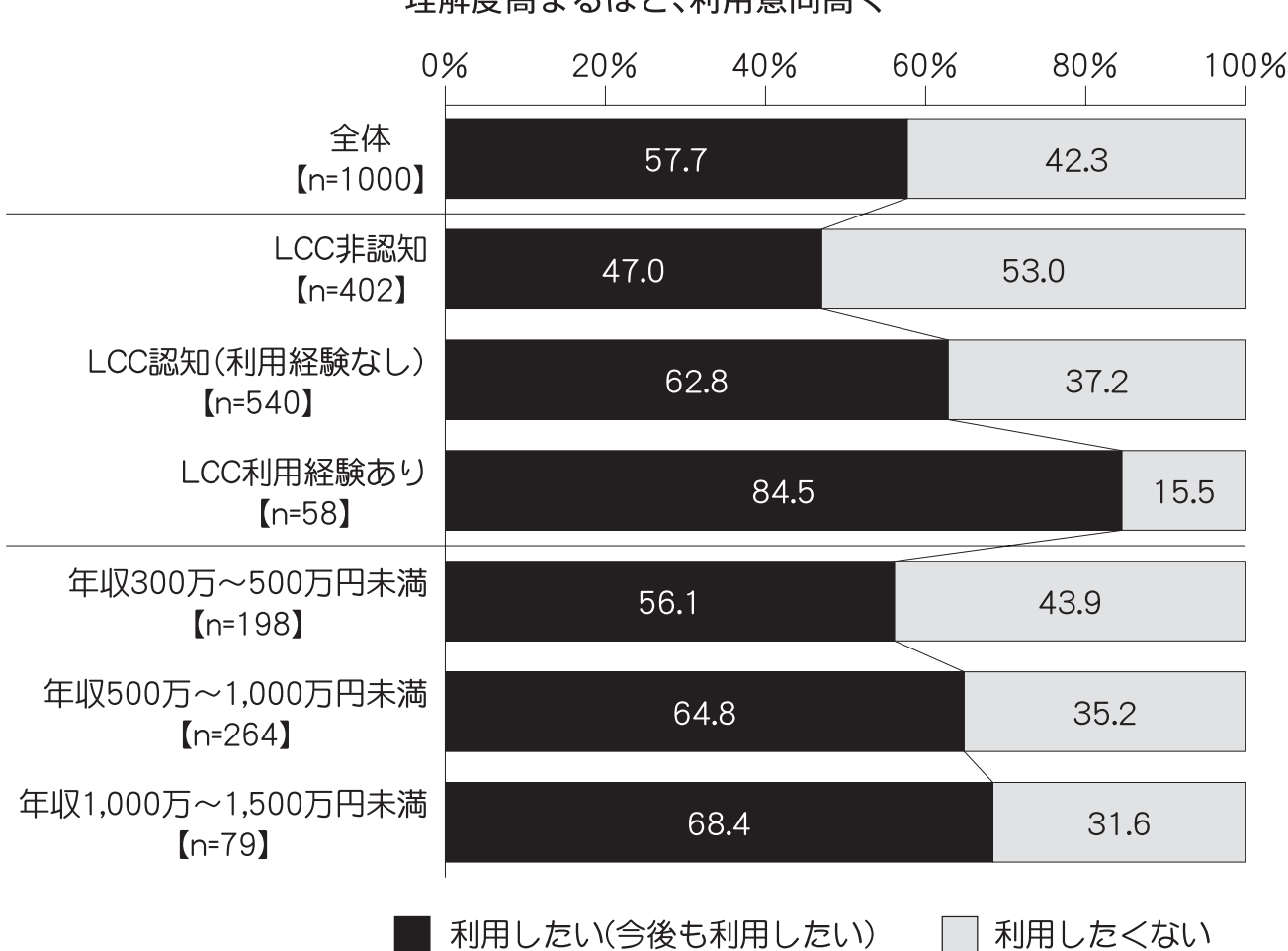


※「必ずそうなると思う」+「多分そうなると思う」の値をグラフ化

格安航空会社（LCC）を今後利用したい人は6割弱。インターネットを活用して生命保険サービスを提供するライフネット生命が2月に行ったLCCに関する調査で、このような結果が出た。LCCの認知の有無、利用経験別の利用意向を見ると、非認知層、認知層、利用経験層とLCCへの理解が進むにつれ利用意向が高かった。また世帯年収別では、年収が上がるほど利用意向が高くなった。低運賃のために許容できることの範囲についての問いでは、飲料サービスなどが有料化されても良いという人は半数を超えたものの、フライト時間の遅延については許容する人は1割に満たなかった。

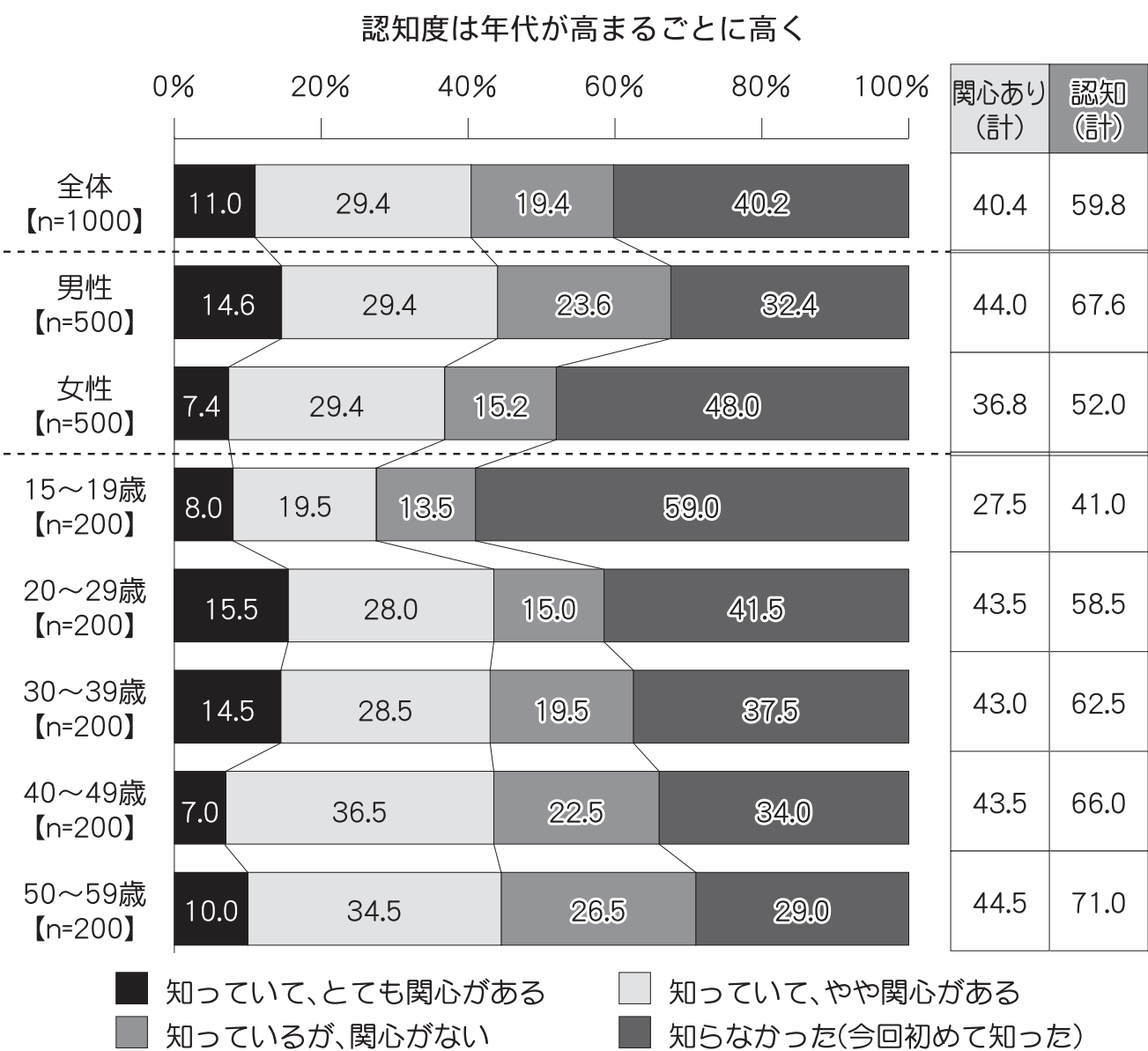
今後LCCを利用したいと思うか

(複数回答)



LCCを知っていたか、またどの程度関心があるか

(単一回答形式)



LCCを利用した時の満足度

(単一回答形式)

※対象：プライベート、出張で利用したことがある人

